

誤嚥性肺炎の摂食指導実施率

分子 誤嚥性肺炎退院患者のうち、摂食機能療法が実施された患者数

分母 誤嚥性肺炎の退院患者数

誤嚥とは

食物や唾液などを気管、肺などに誤って飲み込むことです。加齢や脳卒中後遺症などでみられることがあります。

指標説明

加齢や脳梗塞後遺症などにおいても、現にある機能を活かしたり、食事内容を工夫することにより、誤嚥に至る率を抑えることが誤嚥性肺炎を避ける方法の一つです。病状により指導内容は異なりますが、今回の指標では診療報酬請求上該当する指導の率をみています。